

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会 河内ブロック研修会 報告

家庭教育オピニオンリーダーの活動の活性化と充実を目指して実施されている家庭教育オピニオンリーダー連合会河内ブロック研修会が、9月4日（木）に上三川町 ORIGAMI プラザにて行われました。研修会のテーマは「～みんな違ってみんないい～七宝焼きのペンダントを作ろう」で、「個性を認め合い、自尊感情を高めよう」というねらいのもと、猪瀬幸子さんを講師に迎えて、七宝焼き体験をしました。

今回の七宝焼き体験活動では、参加者が選んだペンダントの形によって4つのグループが編成され、河内ブロック会員のみなさんと家庭教育オピニオンリーダー研修の受講者が一緒になって活動しました。はじめにグループごとに自己紹介を行い、講師の猪瀬さんの説明の後に制作活動が始まりました。

グループには形ごとに見本の作品が用意されており、完成のイメージをしながら、銅線や色の配置を考えました。初めて七宝焼き体験をする方が多く、砂を置く量など、分からない点は講師に質問したり、

グループ内で相談したりしながら制作を進めました。焼き上がりの色合いや配置したガラスやビーズの変化を楽しみに、わくわくしながら電気炉での焼き上がりを待つこと2分。釉薬が焼かれて宝石のように透過した作品が出てきました。冷ました後は、まわりをヤスリで整え、

希硫酸につけてから、ひもを通して完成です。

完成後は、互いの作品を鑑賞し合い、銅線やガラスの使い方、配色に対する賞賛の声が多く聞こえました。今回のねらいである「個性を認め合い、自尊感情を高める」ことがしっかりと達成されるとともに、七宝焼き体験を通して参加者同士の交流も深まりました。河内ブロックのみなさん、大変お世話になりました。

